



短歌

田坂 幸 選

戦争を知らぬ若きらに伝へたく涙ながらに思
ひ出語る
図書館の静寂の中に本を選ぶ雨にぬれたる靴
ふきつつ
難聴の我に聞えぬ虫の音よ千口淋しく鳴く
と妻言ふ
森田広司

俳句

玉井 北男 選

爽涼や単車の若僧すれ違い
よく笑ふ隣の夫婦西瓜玉
岩屋寺の岩窟暗し大西日
向日葵や時にはそっぽを向かんとす

青野義明
菅 正子
森本郁子

川柳

金子 一孝 選

磯の香の漂う段畑早生ミカン
退院の吉日仰ぐ天高し
石鏝に黒雲わいて蛙鳴く
雨あがり輝くみどり蟬時雨

三好清信
高橋 和
川原利代
藤原 博
尾崎康博

立ち込めて
レース編む手ははかどれど定まらぬ思ひは胸
をめぐりめぐりぬ
間仕切を開き放ちて風を入れ家内ととのへ帰
省子ら待つ
夏の雨花生いきとそれぞれの色鮮やかに庭
を彩る
越智富美子

■俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体（楷書等）で作成し、
俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりが
なを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎
月1日までに担当課へ郵送・持参してください。
応募先

〒793-8601 明屋敷164
西条市役所 広報広聴課 広報係
TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.104

もう一人の息子との出会い
～ホストファミリー体験～



▲ホストファミリー山本さんの夏休み帰省中の息子(右)と中国からの息子(左)

一人息子が昨年春、神戸の大学に進学し、子どものいない生活に改めて寂しさを感じはじめていた時、周龍が我が家にやってきました。

河北大学外国語学院日語科代表団の一員だった周龍は、日本語が堪能できれいな目を輝かせた中国人。それまで私

の中で近くて遠い国だった中国は彼のお陰で一気に近くなりました。

アニメやドラマや歌の話、食や教育の事情から政治問題に至るまで、彼は実に多くのことを私に教えてくれました。文化の違う日本スタイルの生活はさぞ窮屈であったろうに、いつも明るく振る舞い厳しいスケジュールの合間をぬっては、私たちとの買い物・カラオケ・新居浜花火大会・神戸への日帰り旅行など精力的に日本を知ろうとしていました。

彼は「日本人の笑顔と責任感」というテーマで今回の研修報告をまとめました。「どんな場面でも優しい笑顔で人に接し、責任感を持って仕事に取り組む日本人の気質に感動しました。中国人にはない姿です」そう日本を評価する彼の言葉は、日本人の私に改めてこの国の良さを思い出させてくれました。

「いつか必ずまた日本に来ます」と約束し彼は日本を発ちました。今、私は日本の母として、彼の帰り(来日)を心待ちにしています。もう一人の息子と出会い、日本の良さ再発見の機会をくださった皆さまに“表示衷心的感謝!”(心より感謝します)